

各 位

浦安鐵鋼団地協同組合  
景況実感調査委員会

### 浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表 (2024年12月分)

ご協力ありがとうございました。2024年12月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 143 回答 135 回答率 94.4%

調査項目	前 年 同 月 比					計
	10%以上 増加・上昇・好況	やや 増加・上昇・好況	横這い・平常	やや 減少・下降・不況	10%以上 減少・下降・不況	
売上数量	11社	15社	43社	36社	30社	135社
	8.1%	11.1%	31.9%	26.7%	22.2%	
	(6.5)	(14.4)	(34.5)	(26.6)	(18.0)	
売上高	14社	14社	44社	36社	27社	135社
	10.4%	10.4%	32.6%	26.7%	20.0%	
	(10.1)	(10.8)	(33.8)	(28.8)	(16.5)	
在庫数量	8社	22社	65社	24社	12社	131社
	6.1%	16.8%	49.6%	18.3%	9.2%	
	(4.4)	(21.5)	(49.6)	(19.3)	(5.2)	
販売単価	7社	27社	64社	33社	3社	134社
	5.2%	20.1%	47.8%	24.6%	2.2%	
	(5.1)	(16.7)	(47.8)	(29.7)	(0.7)	
収益状況 (粗利)	10社	20社	48社	35社	22社	135社
	7.4%	14.8%	35.6%	25.9%	16.3%	
	(5.0)	(13.7)	(39.6)	(29.5)	(12.2)	
稼働率 (生産・加工設備)	4社	13社	52社	31社	15社	115社
	3.5%	11.3%	45.2%	27.0%	13.0%	
	(2.5)	(10.8)	(46.7)	(30.0)	(10.0)	
入出庫の トラック台数	2社	10社	65社	38社	16社	131社
	1.5%	7.6%	49.6%	29.0%	12.2%	
	(0.7)	(11.9)	(46.3)	(29.9)	(11.2)	
現在の 景況感	0社	4社	54社	50社	26社	134社
	0.0%	3.0%	40.3%	37.3%	19.4%	
	(0.0)	(5.8)	(37.7)	(38.4)	(18.1)	
3ヶ月後の 景況予測	1社	11社	87社	27社	8社	134社
	0.7%	8.2%	64.9%	20.1%	6.0%	
	(0.0)	(4.3)	(63.0)	(28.3)	(4.3)	
特記事項						

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社（不在地主など）は除外してあります  
②( )内の数字は前月のパーセントです  
③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は  
特記事項欄に別途記載いたします  
④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください  
事務局 TEL : 047-350-5311 FAX : 047-350-5316

# 景況実感調査(2024年12月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

【お断り】寄せられたコメントは、各社担当者の現場の声です。個々の会社固有の状況にもとづくものも多々あります。業界全体及び浦安鉄鋼団地全体の見解とは必ずしも一致しませんので、お含み置き願います。また、不穏当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

## 薄板・表面処理鋼板

- ① 数量は前年に負けていないものの、単価の下落にともない数字は減少している。長期休みにもかかわらず、休み前の駆け込みもなく不安を感じる年末であった。
- ② 12月は前月比横這いであったものの、収益が上がらず苦慮している。需要不振が続く中、安値玉の流入などもありジリ安傾向はしばらく継続。また、アメリカの大統領交代の市況への影響も注視しながら慎重な商いが必要だ。
- ③ 12月も需要低迷は継続。定尺等鋼板の見積りはさっぱりだが、C形やデッキ製品等の付加価値の高いフォーミング製品が多めに出荷されたことにより粗利を押し上げてくれた。
- ④ 酸洗鋼板は一部コイルに歯抜けが出ており、価格は別として新しい需要が出ているかと思う。

## 中板

- ① 中板は年末を迎えても需要に変化は見られない。駆け込み需要も無く低調で推移。実需の少ない中、商いは各社とも小口当用買いに徹している。市況はじり安傾向が続く。足元で大手電炉と輸入材の安値玉入荷が本格化し、じり安は止まらない。年明け以降も良い話は聞かれず、同様の状況がしばらく続くものと予想される。

## 厚板

- ① <全体感>鋼材を扱う全分野において需要の低迷、横這いの状況は変わっていない。中でも紐付き需要家において生産調整が継続され需要低迷も影響し、当面は上昇の可能性は低いと思われる。いずれも足元をボトムとして来年度後半以降に向け微増を目指す計画であるとのことだが時期、量ともに不透明感が強い。<分野別>建産機分野は上記の通り足元は非常に稼働が低い。来年度に向け回復させる方向性も見受けられるが、上期は期待薄であり急激な回復は見込めないものと思われる。一方、特に輸出向けの特需(アジア向け?)や為替の影響によるKD分野の特需などの話も出てきており、これらが形として出て来ることに一縷の期待を持ちたい。店売りに関しては安値も散見され、素材価格の下落も懸念される中、当面は厳しい状況が続くと思われる。
- ② 橋梁免震は前月に引き続き低水準であったが、建築関係で正式発注があり全体量としては微増した。リサイクル系機械についても、前月と同様に低水準で推移。建築物の排煙設備は、相変わらず好調を維持。リネン関係(大型洗濯→脱水→仕上げライン設備)も前月と同様に低水準で推移。
- ③ 建設機械は国内、輸出ともに不調で、引き続き減産傾向である。店売りに関しては鋼材の高騰や人手不足で工事の延長もあり、減少が続いている。
- ④ 一部サイズに歯抜けが出始めた。また、ここに来て販売単価が下落しだした。

## — 舟安开形鋼 ・ I-I 开形鋼

- ① 調査項目がほぼ前年同月比横這いでは、不需求期入り直前にしては厳しい状況だ。メーカーの建値の踏ん張りよりも需要の拡大を望む。
- ② 12 月前半は低調な出荷推移であったが、年末の掛け込みがあったのか後半は出荷増。目立った引合いは少ないが、需要は微減から横這いが継続されるものと推測。そんな中、物流が継続課題。積み込むドライバー拘束時間は荷動き低調な現状でもほぼ限界の状況。このままでは流通として供給が滞ることは目に見えている。効率化はもちろんだが、高速代などのコストをユーザーにご理解頂き、しっかりと転稼を進めて行く必要がある。
- ③ 現場の職人不足のため厳しい状況が続いている。高齢化問題も深刻だ。

## 異形棒鋼

- ① 12 月に入り荷動きが急減。売上は大幅に減少した。新年の 1～2 月も回復の期待はできないと思われ、状況は深刻となってきた。
- ② 11 月は動いたが 12 月中旬からは動かなくなり、1 月はまあまあか。去年の同時期よりは悪い。相場は変わらず。

## 平鋼

- ① 12 月の販売数量は店売り、社内加工ともに前月比で約 10%のマイナスとなった。この要因は、11 月から続いている店売りの低迷と建築案件の遅れや中小案件の皆無、建産機の低調と思われる。今年の春先までこのままの状態、我慢の年始めとなりそう。客先を訪問しても良い話は無く、取りこぼしの無いように営業していく。
- ② 物件が少なくそのまま年越し。来年も後半までは辛抱か。このまま価格維持に努めるのが精一杯。

## 軽量开形鋼

- ① 年度末まで現状にて横這い推移の見込み。年度末決算までジリ貧傾向。

## 鋼管

- ① 荷動きは 11 月まで堅調に推移していたが 12 月以降、大きく減少しており先行きも不透明感が増している。
- ② 中小物件の減少と現場進捗遅れ傾向は続いており、加えて年末年始の大型連休を控えて問屋からの引合いは弱い。建設業界の環境が大きく改善する気配もなく、今期は年度末まで今程度の荷動きが続くと思われる。

## 構造用鋼

- ① 需要については、自動車関連はトヨタを除くと総じて振るわない。建機、産機は低調が長引いている。工作機械は一部で回復も見られる。荷動きは店売り、紐付きともに良くない状態。在庫は適正水準。価格は物件対応で安値が散見されるがごく一部。しばらくは横這いで推移か。

## 磨き棒鋼

- ① 自動車向け紐付き品は底を脱した感が出てきたものの、回復への勢いはなく低位で推移したまま。当面は今のままの状況が続くものと思われる。店売り品も当用買いがメインで静かな状態のまま。

## その他

<異形バーインコイル・ナマシ鉄線>

- ① 厳しい状況が続いている。諸々のコスト(電気、ガソリン、人件費)が上昇している  
ので販価維持に努めていく。

<敷鉄板リース>

- ① 敷鉄板リースの稼働率は、1 月中には 90%を超える見通し。ほぼフル稼働に近くな  
ると思われる。

<スクラップ>

- ① 12 月も目立った荷動きは無かった。国内、海外メーカーともにスクラップ調達意欲  
は低い。スクラップ発生量が低調なため相場は維持されている状況。

<金属表面処理>

- ① 紐付きは遅れもなく計画通り。スポットは特殊塗装も多く、付加価値の高い物件も  
あり販売単価に寄与した。1 月も安定的な紐付きと物件が控えており、操業は高く  
なると予想。